

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立中小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立中小学校	http://edu-mizuho.com/sunaka/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立中小学校	http://edu-mizuho.com/sunaka/	http://edu-mizuho.com/sunaka/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
☐ 実施していない

<特記事項>

- ・授業参観等において、授業公開を行っている。
- ・HP にて、外国語科（英語）や外国語活動の授業の様子を積極的に伝えている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別的教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

- ・ 1. 2年生は外国語活動の授業を年27時間位置付け、楽しみながら英語に慣れ親しむことができた。3年生以上は教科として授業・評価を行うことを通して、児童に身に付けさせたい力について、意識して授業を行ったり、パフォーマンステストを行ったりした。
- ・ 外国語科・外国語活動の授業を担当するすべての教師が、瑞穂市教育支援センターの教職員研修指導員による外国語科の授業の指導の機会を活用して学び、実践に生かすことができた。
- ・ 児童が英語により親しめる環境を整えることで、英語という言葉や様々な国の文化について、児童の興味関心を引き出すことができた。
(英語に関わる掲示コーナーを設置し、ALTが定期的に内容を更新)
(特別教室や各教室名の英語表記プレートの設置)
(外国語の授業以外の場でのALTとの交流)

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

- ・ 自分から積極的に意見を述べたり、仲間とコミュニケーションを図ったりする機会を意図的に増やそうとした。英語を用いて自分の思いを伝え合い、理解しあう喜びを味わえるよう、授業改善に努めている。
- ・ 本校は単学級であり同学年の英語の授業を参観して学びあう機会をもてないため、授業改善のためのよりよい具体的なアイデアを知り活かす機会に乏しい。また、児童の外国語科(英語)の授業で身に付いた力を客観的に判断することに弱さがある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・ 「英語のまち みずほ」として、英語を学び、使い、交流することのよさを実感できるようにする。そのために、授業のねらいとそれに迫るための手立てを明確にし、ALTとHRTが連携を密にして、児童が主体的に学ぶ授業づくりを目指す。
- ・ 引き続き、瑞穂市教育支援センターの教職員研修指導員による外国語科の授業の指導の機会を活用して学ぶ。その機会に他の教師も授業を参観するなどして、様々なアイデアや発達段階による学びの系統性等を学べるようにする。
- ・ 英語教育推進教師が研修会で学んだ他校の実践等の情報を職員に広げ、よりよい授業のイメージを共有する。